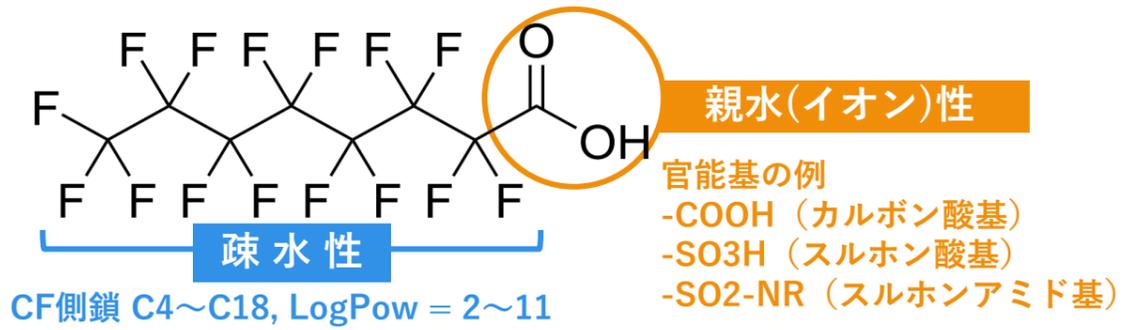


主要 PFAS 構造式 (MW, LogPow)

構造の概要

例 PFOA(ペルフルオロオクタン酸)

PerFluoroOctanoic Acid
MW: 500 LogPow: 5

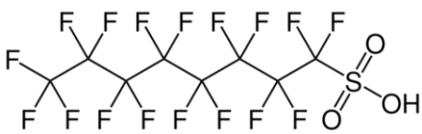


- PFASとは、主に炭素とフッ素からなる化学物質でペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物のことを指す。
- 「アルキル」は、炭素と水素が結びついたもの。「ペルフルオロ」はアルキル基に結合した水素がすべてフッ素で置き換わったもの、「ポリフルオロ」はアルキル基に結合した水素の一部がフッ素で置き換わったものを指す。

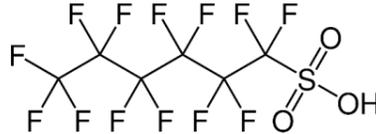
- 物性は炭素鎖の長さで大きく異なり、いずれも強く安定した炭素-フッ素結合を持ち、加水分解、光分解、微生物分解及び代謝に対して耐性がある。
- 撥水・撥油性、熱・化学的安定性等の物性を示すものがあり、溶剤、界面活性剤、繊維・革・紙・プラスチック等の表面処理剤、イオン交換膜、潤滑剤、泡消火薬剤、半導体原料、フッ素ポリマー加工助剤等、幅広い用途で使用されている。

※参照：環境省Webサイト (<https://www.env.go.jp/water/pfas/faq001.html>)

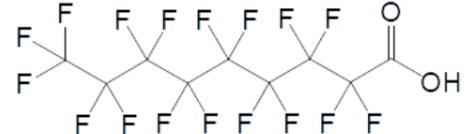
PFOS PerFluoroOctaneSulfonic acid
MW: 414 LogPow: 4.9



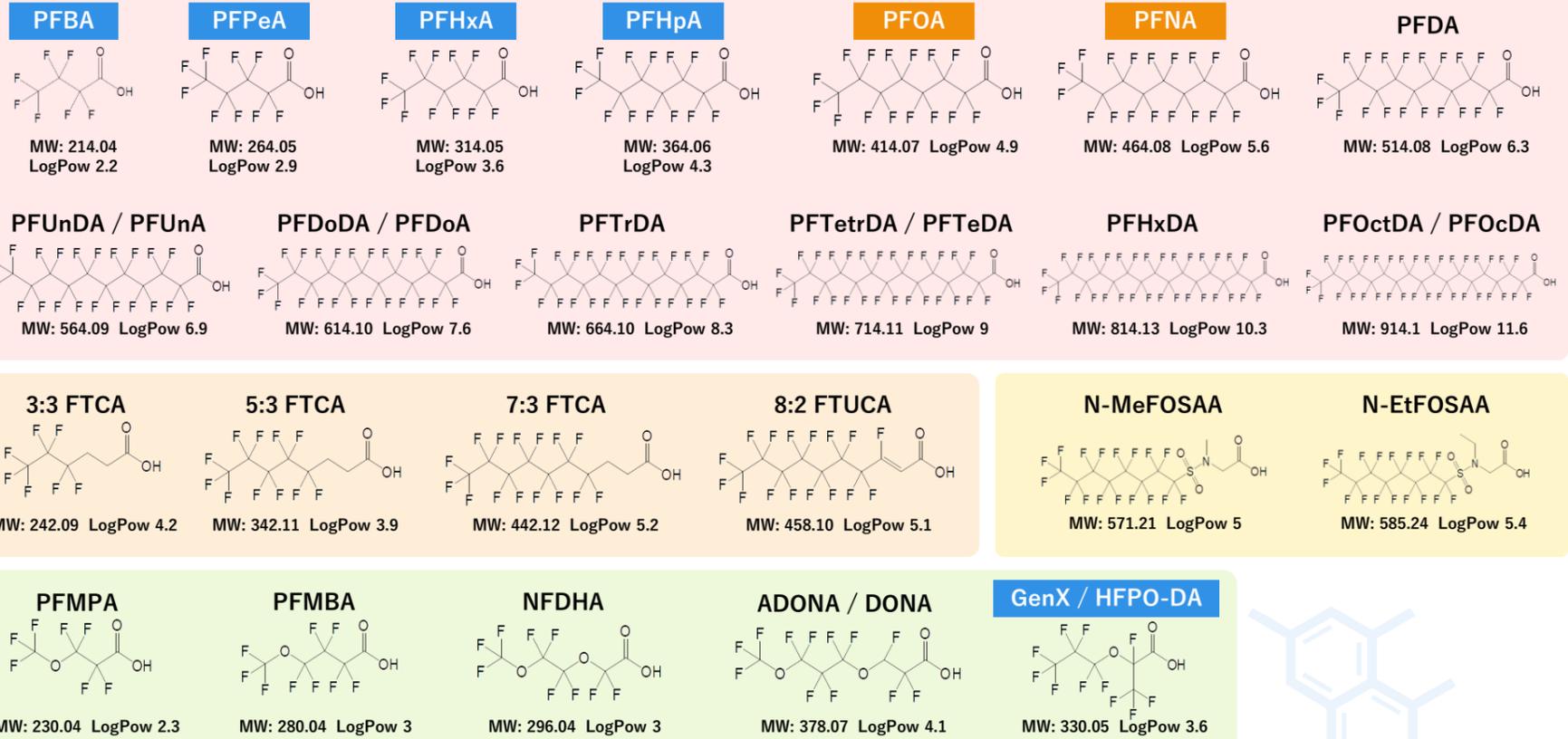
PFHxS PerFluoroHexaneSulfonic acid
MW: 400 LogPow: 3.7



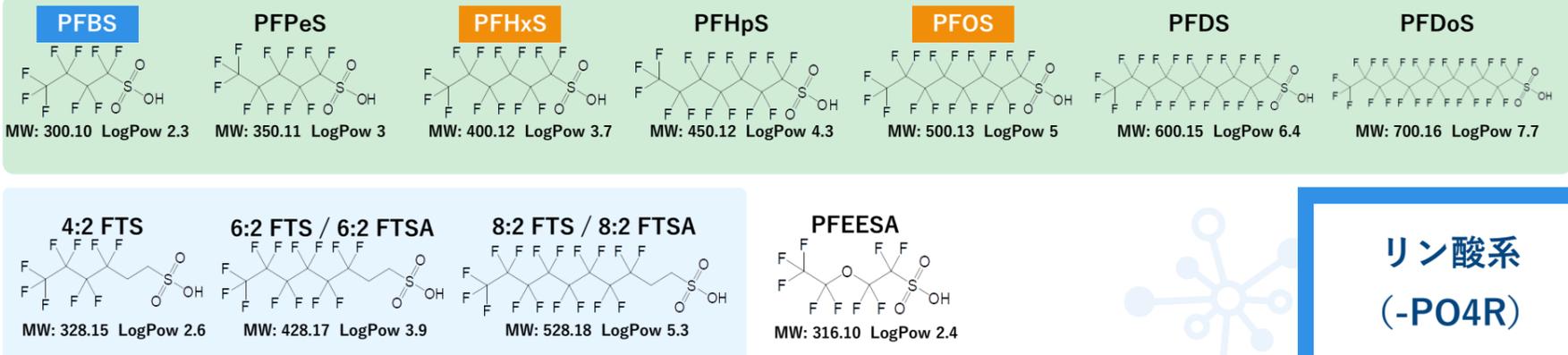
PFNA PerFluoroNonanoic Acid
MW: 464 LogPow: 5.6



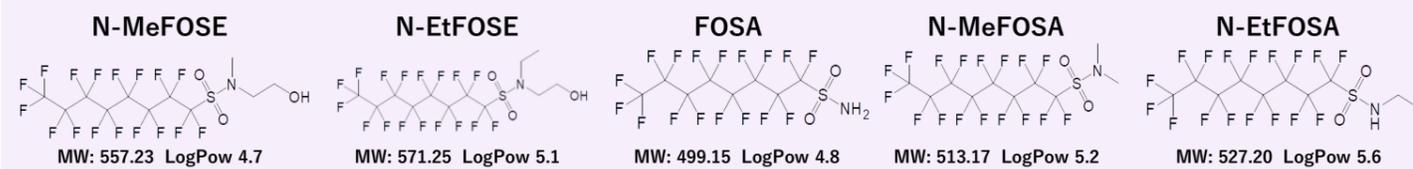
カルボン酸系 (-COOH)



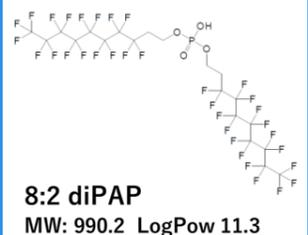
スルホン酸系 (-SO₃H)



スルホンアミド系 (-SO₂-NR)



リン酸系 (-PO₄R)



※記載内容についてアイスティサイエンスが保証するものではありません。必要に応じ正確な情報をご確認ください。